

授 業 科 目 名	教職論 I (Teaching as a Profession I)		
科 目 番 号	9803151	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	1 年次
実 施 学 期	春 AB	曜 時 限	月曜・6 時限
対 象 学 群 ・ 学 類	人文・応理・エシス・比文・日日・社工対象		
担 当 教 員 ( 連 絡 先 )	星野 真澄		
オ フ ィ ス ア ワ ー			
授 業 の 到 達 目 標	(1)教職の意義と特徴を理解する。 (2)教員に求められる資質能力とともにその役割を理解する。 (3)教員としての職務の全体像とともに、服務上・身分上の義務と身分保障を理解する。		
授 業 の 概 要	教員の養成と採用の全体像を確認したうえで、教員養成の変遷とともに、それに伴う教師像の 移り変わりにも言及しながら、現代社会で求められる教員の資質能力を、資格と役割と職務と のかかわりにおいて講義する。その講義を通して、学生は自分なりの理想とする教師像を考え ることになる。		
授 業 計 画	第 1 回 教職とは何か 第 2 回 教員養成のカリキュラム 第 3 回 教員の資格と役割 第 4 回 教員養成の変遷—明治期から昭和期を中心に— 第 5 回 教員養成の変遷—平成期を中心に— 第 6 回 教師像の検討 第 7 回 教師の専門性 第 8 回 教師の職務 第 9 回 教員の採用 第 10 回 まとめ 定期試験		
成 績 評 価 方 法	試験と授業への参加状況をもとに総合的に評価する。		
テ キ ス ト	吉田武男編『教職論』ミネルヴァ書房、2018 年		
参 考 文 献	文部科学省『中学校学習指導要領』(平成 29 年版) 文部科学省『高等学校学習指導要領』(平成 30 年版)		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法			
受 講 学 生 に 望 む こ と	授業には必ず指定のテキストを持参すること。		
備 考	必要な出席回数に達しない場合は、単位の認定はしない。		

授 業 科 目 名	教職論 II (Teaching as a Profession II)		
科 目 番 号	9803161	授業形態	講義
単 位 数	1 単位	標準履修年次	1 年次
実 施 学 期	秋 AB	曜時限	金曜・2 時限
対象学群・学類	人文・応理・エシス・比文・日日・社工対象		
担当教員(連絡先)	奥谷 雅恵, 星野 真澄		
オフィスアワー			
授業の到達目標	(1) 教職の意義と特徴を理解する。 (2) 教員に求められる資質能力とともにその役割を理解する。 (3) 教員としての職務の全体像とともに、服務上・身分上の義務と身分保障を理解する。		
授業の概要	教員の具体的・実的な職務とともに教師としてのライフサイクルを取りあげ、教員の校務分掌と連携、そして家庭・地域社会と学校との連携、つまりチームとしての学校の重要性について検討する。その講義を通して、学生は自分なりの理想とする教師のあるべき姿を考えることになる。		
授業計画	第 1 回 カリキュラムと教師 第 2 回 学級づくりと教師 第 3 回 授業と教師 第 4 回 生徒指導・道徳教育と教師 第 5 回 特別活動・総合的な学習の時間と教師 第 6 回 部活動と教師 第 7 回 教師のライフサイクル 第 8 回 教員の校務分掌と連携 第 9 回 家庭・地域社会と学校との連携が教師に期待するもの 第 10 回 教職論のまとめ 定期試験		
成績評価方法	試験と授業への参加状況をもとに総合的に評価する。		
テキスト	第1回の授業時に指示する。		
参考文献	中学校学習指導要領、高等学校学習指導要領		
授業外における学習方法			
受講学生に望むこと			
備考			

授 業 科 目 名	教職論 I (Teaching as a Profession I)		
科 目 番 号	9803211	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	1 年次
実 施 学 期	春 C	曜 時 限	水曜・1、2 時限
対 象 学 群 ・ 学 類	生物・地球・数学・物理・化学・創成・医学・看護・医療・芸術対象		
担 当 教 員 ( 連 絡 先 )	星野 真澄		
オ フ ィ ス ア ワ ー			
授 業 の 到 達 目 標	(1)教職の意義と特徴を理解する。 (2)教員に求められる資質能力とともにその役割を理解する。 (3)教員としての職務の全体像とともに、サービス・身分上の義務と身分保障を理解する。		
授 業 の 概 要	教員の養成と採用の全体像を確認したうえで、教員養成の変遷とともに、それに伴う教師像の移り変わりにも言及しながら、現代社会で求められる教員の資質能力を、資格と役割と職務とのかかわりにおいて講義する。その講義を通して、学生は自分なりの理想とする教師像を考えることになる。		
授 業 計 画	第 1 回 教職とは何か 第 2 回 教員養成のカリキュラム 第 3 回 教員の採用 第 4 回 教員の資格と役割 第 5 回 教員養成の変遷—明治期から戦中期を中心に— 第 6 回 教員養成の変遷—戦後の昭和期を中心に— 第 7 回 教員養成の変遷—平成期を中心に— 第 8 回 教師の専門性 第 9 回 教師の職務 第 10 回 教師像の検討 定期試験		
成 績 評 価 方 法	試験と授業への参加状況をもとに総合的に評価する。		
テ キ ス ト	吉田武男編『教職論』ミネルヴァ書房、2018 年		
参 考 文 献	中学校学習指導要領、高等学校学習指導要領		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法			
受 講 学 生 に 望 む こ と	授業には必ず指定のテキストを持参すること。		
備 考	必要な出席回数に達しない場合は、単位の認定はしない。		

授 業 科 目 名	教職論 I (Teaching as a Profession I)		
科 目 番 号	9803221	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	1 年次
実 施 学 期	春 AB	曜 時 限	水曜・1 時限
対 象 学 群 ・ 学 類	教育・心理・障害・知識・社会・国際・資源・情報対象		
担 当 教 員 ( 連 絡 先 )	奥谷 雅恵, 星野 真澄		
オ フ ィ ス ア ワ ー			
授 業 の 到 達 目 標	(1)教職の意義と特徴を理解する。 (2)教員に求められる資質能力とともにその役割を理解する。 (3)教員としての職務の全体像とともに、服務上・身分上の義務と身分保障を理解する。		
授 業 の 概 要	教員の養成と採用の全体像を確認したうえで、教員養成の変遷とともに、それに伴う教師像の 移り変わりにも言及しながら、現代社会で求められる教員の資質能力を、資格と役割と職務と のかかわりにおいて講義する。その講義を通して、学生は自分なりの理想とする教師像を考え ることになる。		
授 業 計 画	第 1 回 教職とは何か 第 2 回 教員養成のカリキュラム 第 3 回 教員の資格と役割 第 4 回 教員養成の変遷—明治期から昭和期を中心に— 第 5 回 教員養成の変遷—平成期を中心に— 第 6 回 教師像の検討 第 7 回 教師の専門性 第 8 回 教師の職務 第 9 回 教員の採用 第 10 回 まとめ 定期試験		
成 績 評 価 方 法	試験と授業への参加状況をもとに総合的に評価する。		
テ キ ス ト	吉田武男編『教職論』ミネルヴァ書房、2018 年		
参 考 文 献	文部科学省『中学校学習指導要領』(平成 29 年版) 文部科学省『高等学校学習指導要領』(平成 30 年版)		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法			
受 講 学 生 に 望 む こ と	授業には必ず指定のテキストを持参すること。		
備 考			

授 業 科 目 名	教職論 I (Teaching as a Profession I)		
科 目 番 号	9803241	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	1 年次
実 施 学 期	春 AB	曜 時 限	月曜・5 時限
対 象 学 群 ・ 学 類	体育 1～5 クラス対象		
担 当 教 員 ( 連 絡 先 )	吉田 武男		
オ フ ィ ス ア ワ ー	月 (18:00～19:00) 教職サポートルーム (グローバル教師力開発推進室)		
授 業 の 到 達 目 標	(1) 教職の意義と特徴を理解する。 (2) 教員に求められる資質能力とともにその役割を理解する。 (3) 教員としての職務の全体像とともに、服務上・身分上の義務と身分保障を理解する。		
授 業 の 概 要	教員の養成と採用の全体像を確認したうえで、教員養成の変遷とともに、それに伴う教師像の 移り変わりにも言及しながら、現代社会で求められる教員の資質能力を、資格と役割と職務と のかかわりにおいて講義する。その講義を通して、学生は自分なりの理想とする教師像を考え ることになる。		
授 業 計 画	第 1 回 教職とは何か 第 2 回 教員養成のカリキュラム 第 3 回 教員の資格と役割 第 4 回 教員養成の変遷—明治期から昭和期を中心に— 第 5 回 教員養成の変遷—平成期を中心に— 第 6 回 教師像の検討 第 7 回 教師の専門性 第 8 回 教師の職務 第 9 回 教員の採用 第 10 回 授業のまとめと補足 定期試験		
成 績 評 価 方 法	試験と授業への参加状況をもとに総合的に評価する。		
テ キ ス ト	吉田武男編『教職論』ミネルヴァ書房、2018 年		
参 考 文 献	文部科学省『中学校学習指導要領』(平成 29 年版) 文部科学省『高等学校学習指導要領』(平成 30 年版)		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法			
受 講 学 生 に 望 む 事 項			
備 考			

授 業 科 目 名	教職論 I (Teaching as a Profession I)		
科 目 番 号	9803251	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	1 年次
実 施 学 期	春 AB	曜 時 限	水曜・1 時限
対 象 学 群 ・ 学 類	体育 6～10 クラス対象		
担 当 教 員 ( 連 絡 先 )	星野 真澄, 奥谷 雅恵		
オ フ ィ ス ア ワ ー			
授 業 の 到 達 目 標	(1)教職の意義と特徴を理解する。 (2)教員に求められる資質能力とともにその役割を理解する。 (3)教員としての職務の全体像とともに、服務上・身分上の義務と身分保障を理解する。		
授 業 の 概 要	教員の養成と採用の全体像を確認したうえで、教員養成の変遷とともに、それに伴う教師像の 移り変わりにも言及しながら、現代社会で求められる教員の資質能力を、資格と役割と職務と のかかわりにおいて講義する。その講義を通して、学生は自分なりの理想とする教師像を考え ることになる。		
授 業 計 画	第 1 回 オリエンテーション、教職とは何か 第 2 回 教師の専門性 第 3 回 教師の職務 第 4 回 教員の採用 第 5 回 教師像の検討 第 6 回 教員養成のカリキュラム 第 7 回 教員の資格と役割 第 8 回 教員養成の変遷—明治期から昭和期を中心に— 第 9 回 教員養成の変遷—平成期を中心に— 第 10 回 まとめ 定期試験		
成 績 評 価 方 法	試験と授業への参加状況をもとに総合的に評価する。		
テ キ ス ト	吉田武男編『教職論』ミネルヴァ書房、2018 年		
参 考 文 献	文部科学省『中学校学習指導要領』(平成 29 年版) 文部科学省『高等学校学習指導要領』(平成 30 年版)		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法			
受 講 学 生 に 望 む こ と	授業には必ず指定のテキストを持参すること。		
備 考			

授 業 科 目 名	教職論 II (Teaching as a Profession II)		
科 目 番 号	9803311	授業形態	講義
単 位 数	1 単位	標準履修年次	1 年次
実 施 学 期	秋 AB	曜時限	金曜・2 時限
対 象 学 群 ・ 学 類	生物・地球・数学・物理・化学・創成対象		
担当教員(連絡先)	星野 真澄, 奥谷 雅恵		
オフィスアワー			
授業の到達目標	(1) 教職の意義と特徴を理解する。 (2) 教員に求められる資質能力とともにその役割を理解する。 (3) 教員としての職務の全体像とともに、服務上・身分上の義務と身分保障を理解する。		
授業の概要	教員の具体的・実的な職務とともに教師としてのライフサイクルを取りあげ、教員の校務分掌と連携、そして家庭・地域社会と学校との連携、つまりチームとしての学校の重要性について検討する。その講義を通して、学生は自分なりの理想とする教師のあるべき姿を考えることになる。		
授業計画	第 1 回 カリキュラムと教師 第 2 回 学級づくりと教師 第 3 回 授業と教師 第 4 回 生徒指導・道徳教育と教師 第 5 回 特別活動・総合的な学習の時間と教師 第 6 回 部活動と教師 第 7 回 教師のライフサイクル 第 8 回 教員の校務分掌と連携 第 9 回 家庭・地域社会と学校との連携が教師に期待するもの 第 10 回 教職論のまとめ 定期試験		
成績評価方法	試験と授業への参加状況をもとに総合的に評価する。		
テキスト	第1回の授業時に指示する。		
参考文献	中学校学習指導要領、高等学校学習指導要領		
授業外における学習方法			
受講学生に望むこと			
備考			

授 業 科 目 名	教職論Ⅱ (Teaching as a Profession Ⅱ)		
科 目 番 号	9803321	授業形態	講義
単 位 数	1単位	標準履修年次	1年次
実 施 学 期	秋 AB	曜時限	水曜・1時限
対 象 学 群 ・ 学 類	医学・看護・医療・芸術・教育・心理・障害・知識・社会・国際・資源・情報対象		
担当教員(連絡先)	星野 真澄		
オフィスアワー			
授業の到達目標	<p>(1) 教職の意義と特徴を理解する。</p> <p>(2) 教員に求められる資質能力とともにその役割を理解する。</p> <p>(3) 教員としての職務の全体像とともに、服務上・身分上の義務と身分保障を理解する。</p>		
授業の概要	<p>教員の具体的・実地的な職務とともに教師としてのライフサイクルを取りあげ、教員の校務分掌と連携、そして家庭・地域社会と学校との連携、つまりチームとしての学校の重要性について検討する。その講義を通して、学生は自分なりの理想とする教師のあるべき姿を考えることになる。</p>		
授 業 計 画	<p>第1回 カリキュラムと教師</p> <p>第2回 学級づくりと教師</p> <p>第3回 授業と教師</p> <p>第4回 生徒指導・道徳教育と教師</p> <p>第5回 特別活動・総合的な学習の時間と教師</p> <p>第6回 部活動と教師</p> <p>第7回 教師のライフサイクル</p> <p>第8回 教員の校務分掌と連携</p> <p>第9回 家庭・地域社会と学校との連携が教師に期待するもの</p> <p>第10回 教職論のまとめ</p> <p>定期試験</p>		
成績評価方法	試験と授業への参加状況をもとに総合的に評価する。		
テ キ ス ト	第1回の授業時に指示する。		
参 考 文 献	中学校学習指導要領、高等学校学習指導要領		
授業外における学習方法			
受講学生に望むこと			
備 考	必要な出席回数に達しない場合は、単位の認定はしない。		

授 業 科 目 名	教職論 II (Teaching as a Profession II)		
科 目 番 号	9803341	授業形態	講義
単 位 数	1 単位	標準履修年次	1 年次
実 施 学 期	秋 AB	曜時限	金曜・2 時限
対 象 学 群 ・ 学 類	体育 1～5 クラス対象		
担当教員(連絡先)	三田部 勇		
オ フィ ス ア ワ ー	月曜日 11:30-12:10		
授 業 の 到 達 目 標	<p>現代社会における教職の重要性の高まりを背景に、教職の意義、教員の役割・資質能力・職務内容等について身に付け、教職への意欲を高め、さらに適性を判断し、進路選択に資する教職の在り方を理解する。教職(保健体育教師)として実際の側面を中心に理解する。</p> <p>1)教職の意義と特徴を理解する。</p> <p>2)教員に求められる資質能力とともにその役割を理解する。</p> <p>3)教員としての職務の全体像とともに、学級経営・授業づくりについて理解する。</p>		
授 業 の 概 要	<p>現代における教育問題を取り上げ、教員としての実践的な指導力を身に付けるための基礎を培う。また、教員の具体的・実践的な職務としての学級経営、授業づくりを取り上げ、教育計画の重要性や教育することの尊さについて考察する。この講義を通して、自分なりの理想とする教師のあるべき姿を考える。</p>		
授 業 計 画	<p>第 1 回 保健体育教師としての役割</p> <p>第 2 回 現代の保健体育教師を取り巻く諸課題-体罰等-</p> <p>第 3 回 部活動の意義と教育的役割</p> <p>第 4 回 学校教育における危機管理 -体育に関する安全管理を中心に-</p> <p>第 5 回 学級を創り育てる教師① -学級経営について-</p> <p>第 6 回 学級を創り育てる教師② -どんな学級を創りたいのか考えてみよう-</p> <p>第 7 回 授業を創造する教師① -授業づくりについて-</p> <p>第 8 回 授業を創造する教師② -保健のマイクロティーチング-</p> <p>第 9 回 保健体育教師としてのキャリアステージ・ライフステージ</p> <p>第 10 回 教員免許取得の方法及び教員採用選考試験の今日的な動向</p>		
成 績 評 価 方 法	<p>基本的に、授業内容について、定期試験の6割以上の理解を単位認定の基準とする。</p> <p>授業への参加状況を加味し、総合的に評価する。</p>		
テ キ ス ト	特になし。毎時間プリント資料を配布する。		
参 考 文 献	<p>中学校学習指導要領、高等学校学習指導要領</p> <p>1. 井芹 貴志,凡事徹底——九州の小さな町の公立高校からJリーガーが生まれ続ける理由</p> <p>2. 伊藤 博子,保健体育教師になろう!</p> <p>3. 下野 六太,跳べた! 泳げた! 必ずできる! -驚異の下野式体育</p> <p>4. 下野 六太,「やればできる!」を味わえば子どもは伸びる</p> <p>5. 原田 隆史,カリスマ体育教師の常勝教育</p>		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法	<p>教育時事について情報を収集する。</p> <p>教育問題についてのニュースや新聞記事について自分なりの考えを書き留めておく。</p>		
受 講 学 生 に 望 む 事 項	教職(保健体育科教員)に就くための基礎的、基本的な事項をしっかり身に付けること。		
備 考			

授 業 科 目 名	教職論 II (Teaching as a Profession II)		
科 目 番 号	9803351	授業形態	講義
単 位 数	1 単位	標準履修年次	1 年次
実 施 学 期	秋 AB	曜時限	水曜・1 時限
対 象 学 群 ・ 学 類	体育 6～10 クラス対象		
担 当 教 員 ( 連 絡 先 )	三田部 勇		
オ フ ィ ス ア ワ ー	月曜日 11:30-12:10		
授 業 の 到 達 目 標	<p>現代社会における教職の重要性の高まりを背景に、教職の意義、教員の役割・資質能力・職務内容等について身に付け、教職への意欲を高め、さらに適性を判断し、進路選択に資する教職の在り方を理解する。教職(保健体育教師)として実際の側面を中心に理解する。</p> <p>1)教職の意義と特徴を理解する。</p> <p>2)教員に求められる資質能力とともにその役割を理解する。</p> <p>3)教員としての職務の全体像とともに、学級経営・授業づくりについて理解する。</p>		
授 業 の 概 要	<p>現代における教育問題を取り上げ、教員としての実践的な指導力を身に付けるための基礎を培う。また、教員の具体的・実践的な職務としての学級経営、授業づくりを取り上げ、教育計画の重要性や教育することの尊さについて考察する。この講義を通して、自分なりの理想とする教師のあるべき姿を考える。</p>		
授 業 計 画	<p>第 1 回 保健体育教師としての役割</p> <p>第 2 回 現代の保健体育教師を取り巻く諸課題-体罰等-</p> <p>第 3 回 部活動の意義と教育的役割</p> <p>第 4 回 学校教育における危機管理 -体育に関する安全管理を中心に-</p> <p>第 5 回 学級を創り育てる教師① -学級経営について-</p> <p>第 6 回 学級を創り育てる教師② -どんな学級を創りたいのか考えてみよう-</p> <p>第 7 回 授業を創造する教師① -授業づくりについて-</p> <p>第 8 回 授業を創造する教師② -保健のマイクロティーチング-</p> <p>第 9 回 保健体育教師としてのキャリアステージ・ライフステージ</p> <p>第 10 回 教員免許取得の方法及び教員採用選考試験の今日的な動向</p>		
成 績 評 価 方 法	<p>基本的に、授業内容について、定期試験の6割以上の理解を単位認定の基準とする。</p> <p>授業への参加状況を加味し、総合的に評価する。</p>		
テ キ ス ト	特になし。毎時間プリント資料を配布する。		
参 考 文 献	<p>中学校学習指導要領、高等学校学習指導要領</p> <p>1. 井芹 貴志,凡事徹底——九州の小さな町の公立高校からJリーガーが生まれ続ける理由</p> <p>2. 伊藤 博子,保健体育教師になろう!</p> <p>3. 下野 六太,跳べた! 泳げた! 必ずできる! -驚異の下野式体育</p> <p>4. 下野 六太,「やればできる!」を味わえば子どもは伸びる</p> <p>5. 原田 隆史,カリスマ体育教師の常勝教育</p>		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法	<p>教育時事について情報を収集する。</p> <p>教育問題についてのニュースや新聞記事について自分なりの考えを書き留めておく。</p>		
受 講 学 生 に 望 む 事 項	教職(保健体育科教員)に就くための基礎的、基本的な事項をしっかり身に付けること。		
備 考			